



※写真提供「かなやまこども園」

げろ

議会だより

TOPICS

- 令和6年度決算審査(予算決算常任委員会)
- 議会の主な動き(常任委員会視察報告)
- 9月定例会報告(審議結果)・常任委員会報告(審査結果)
- 一般質問(これって、どうなってるの?)
- 一般質問の方法が変わります、12月定例会日程

No. **86**

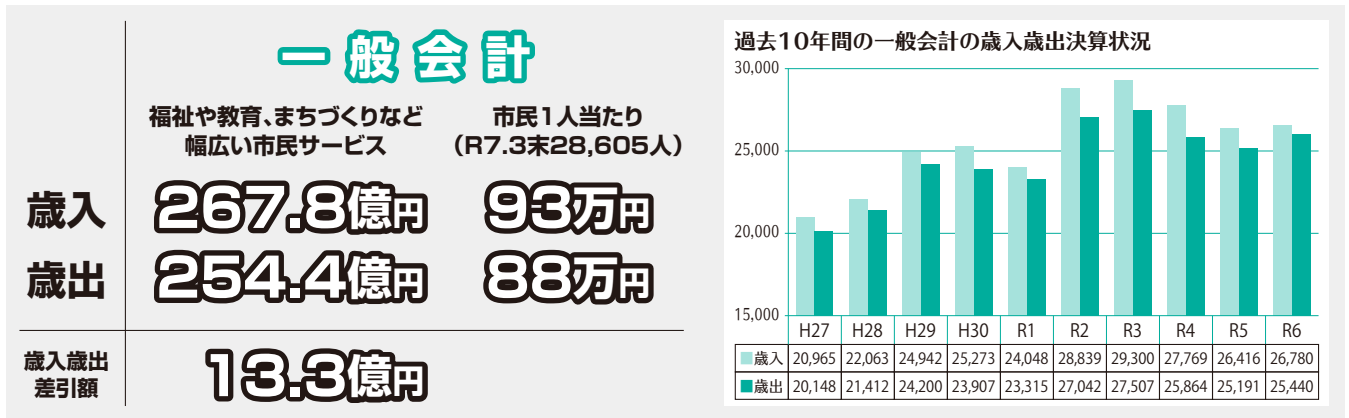
令和7年 11月1日

【金山ふれあいパークがリニューアルオープン!】

令和7年10月1日、「金山ふれあいパーク」が、市内で初めてとなるミスト付き遊具と休憩所を備え、リニューアルオープンしました。記念すべきこの日には、オープンセレモニーが開催され、多くの関係者や園児が新しい公園の誕生を祝いました。セレモニーには、かなやまこども園の年長園児20名をはじめ、金山地域の子育て世代代表、公園緑地整備検討協議会の金山地域委員、そして今回の整備に際し寄附をされた方々も招かれ、関係者34名が出席し、感謝状贈呈やテープカットが行われました。多くの子どもたちの笑顔あふれる憩いの場となることが期待されます。

令和6年度の決算を審査しました

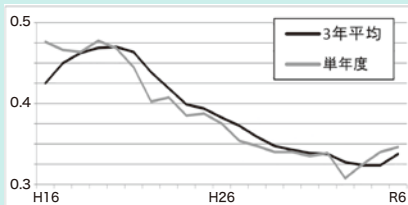
令和6年度決算は、一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせた総額で、前年度対比5,002万円減の405億3,463万円であり、そのうち一般会計の決算額は、合併後4番目の規模となりました。



下呂市の財政状況を知るための3つの主要指標

① 財政力指数 0.340

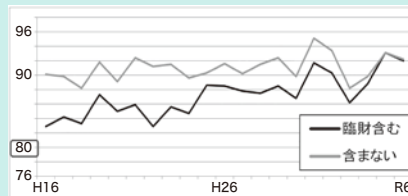
高いほど(1に近いほど)財政に余裕があるとされる。過去3年間の平均値で示す。



改善傾向

② 経常収支比率 92.0%

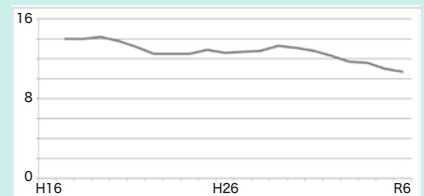
財政構造の弾力性(ゆとり)を判断する指標。80%以上は弾力性を失いつつあるといわれる。



硬直化の懸念

③ 実質公債費比率 10.7%

公債費による財政負担の程度を示す比率。比率が高いと多くが借金返済に充てられ、他の行政サービスに予算を充てられない。



時間は要するが改善傾向

決算審査とは？

「決算」は、地方自治法に基づき、監査委員の審査を経て、市長が議会に提案し、議会が認定することになります。市長から提案された「決算」(年間予算に基づいて執行された各種事業の結果・実績)を受けて、議会では事業の目的や成果を明らかにするとともに、予算の使い方が適正であったかどうかなどをチェック(審査)します。

決算審査の流れ

議会では、「決算」の内容について調査をし、執行部に対する質疑を経て、最終的に決算を認定するかどうか判断することになります。

本会議
(提案説明)

決算内容に係る
事前調査

予算決算常任委員会
審査(質疑)

本会議
(採決)

審査を充実させるため、決算審査準備会を行いました

民生教育まちづくり常任委員会・総務産業建設常任委員会ごとに、「決算審査準備会」(議員間で協議する場)を立ち上げ、決算審査にとって重要だと思われる事業、質疑によって明らかにすべき事業を選定し、その事業に係る論点(議論の中心となる問題点等)を整理しました。

★この作業を経て、委員会ごとで整理された論点に基づき、「予算決算常任委員会」において、委員のチームプレイによる踏み込んだ質疑を展開しました。

～ 決算審査を振り返って ～

予算決算常任委員長 田口琢弥

今回の決算審査においては、今後のより良い政策立案に向けて、決算を見極めていくといった意識を持ちながら、未来につながる審査となるよう努めました。



決算詳細は
広報げろでも



予算決算常任委員会 (決算審査)

9月24日から26日までの3日間、委員会を開催し、付託された令和6年度における一般会計、7つの特別会計、および4つの公営企業会計の決算について審査し、全て認定すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《市税の徴収状況》

問 令和6年度の収納率は、現年度課税分と滞納繰越分を合わせて96.65%となり、現年度課税分では、合併以後、過去最高率となったとのことだが、収納率向上に功を奏した取り組みは。

答 市税の確実な徴収に向け、滞納の累積防止を最重要課題として取り組み、新たな滞納者や滞納額を増やさないよう、早期の催告業務に注力しました。併せて、これまで時間を要していた財産調査にシステムを導入したことにより、即座に回答を得られるようになったことで、早期の滞納処分が可能となり、これが収納率の向上に大きく貢献しているものと言えます。

また、徴収に関する職員のスキルアップを図るため、税務課職員を定期的に県税事務所へ派遣しており、これも収納率向上に寄与する有効な取り組みになったものと考えます。

《災害対策事業》

問 指定避難所となっている学校の体育館にはエアコンがないので、エアコンが完備された校舎教室を避難スペースとして開放する方針を確認しているが、学校での避難所開設には、教職員の関わりが必要不可欠であるが、その体制整備の考えは。

答 現在、一部の学校で市と学校と自治会の合同による避難所開設訓練を進めています。教職員にも参加していただくことで、校舎内の利用可能な範囲の確認や、それぞれの立場での役割などを認識できる機会にもなっており、この訓練を全市的に広げていきたいと考えています。



自治会・学校との連携による避難所開設訓練

《デマンドバス運行事業》

問 金山・小坂・馬瀬・下呂地域においてデマンドバスが運行されており、令和6年10月から金山と小坂での運行が拡充された。そうした中、公共交通サービスにおいて、バス停から離れた交通空白地における移動困難者への交通手段の確保が課題となっているが、その課題を解決するための方策は。

答 現在のデマンドバス運行エリアである小坂・馬瀬・金山・上原・中

原では、デマンドバスを予約されれば、自宅まで迎えに行くドア・トゥ・ドアでの利用が可能であり、交通空白地というのは解消されていると考えます。

一方、萩原・下呂の中心市街地周辺部にもバス停から離れたところは存在するので、今後はそうしたところに、公共交通もしくは公共交通をカバーするような仕組みで、移動を支えることができないか検討していきたいと考えます。

《ごみ減量化促進対策事業》

問 ごみを減らし、資源化を促進するため、PTA等の各種団体が行う資源回収に対する奨励金の交付、ダンボールコンポスト普及のための講座開催、生ごみ処理機購入補助金の交付、資源ごみ回収ステーションの設置等に取り組まれているが、さらなるごみの減量化と資源化を目指した新たな取り組みの考えは。

答 雑紙と衣類は、ごみの減量化と資源化を進める上で重要な品目ですが、十分に回収されていないのが現状です。まずは、市民の皆さんが分別されて、それを出せる場所を設けることが必要であり、そ



地域ごとに設置された「資源ごみ回収ステーション」

の回収方法のあり方や、廃プラスチック等の再資源化に係る研究を行い、家庭ごみの減量化・資源化に向けてできることから取り組んでいきたいと考えます。

《空き家対策事業》

問 管理不全な空き家等の所有者に対する助言・指導を行うと共に、空き家対策を総合的かつ計画的に実施するための協議会が設置されている。

そうした中、令和4年度に、老朽化が進み、倒壊や衛生面などで周辺環境に悪影響を及ぼすおそれのある空き家の解体・撤去に係る費用を、市が補助する制度を創設されたが、令和5年度は1件の実績、令和6年度は実績なしという状況である。制度のあり方等に問題はないのか。

答 現行制度は国の補助金を活用していることから、補助金交付の要件が大変厳しく、空き家の状態によっては対象とならないケースもあり、補助金が活用されない大きな要因と言えます。

このため、現行の制度は継続しつつ、補助金交付要件を緩和した新たな補助金制度の創設を検討している段階です。

託付内容共有サービスYouTubeにて視聴できます。



民生教育まちづくり常任委員会 委員会管外視察

日時：
7月8日～9日

視察先：
岡山県久米郡
美咲町、真庭市、
高梁市

調査研究テーマ：
廃棄物処理、移住定住



《岡山県久米郡美咲町》

美咲町長から「人口減少を受け止めつつ、住んでいる人々が喜び幸せに感じられるまちづくりを目指し、こどもの幸せ最優先、地域住民が主役という観点から『賢く収縮するまちづくり』を進めている」との話を伺い、美咲町長との意見交換も行いました。

また、工事費を抑えながらも職員の働きやすい環境を考えて設計された完成したばかりの庁舎を見学しました。



美咲町庁舎

具体的には、「賢く収縮するまちづくり」の施策では、公共施設の集約化とコスト削減、そして地域主導の「小規模多機能自治」を推進し、高齢者向けの柔軟な移動支援策とし

て「黄福タクシー」制度を導入しているとのことでした。また、子育て支援策として、水道基本料金を第3子以降の末っ子が中学校を卒業するまで助成するという事業を行っていました。

特に関心を持った取り組みとして、美咲町では、解体工事の発注方法を仕様書発注方法にしており、解体費用が3割～4割削減できているということでした。今後、下呂市においても公共施設の解体費用は財政に大きな負担となつてきますので、参考にしていきたいと考えます。



《岡山県真庭市》

「使い捨てから循環へ」を合言葉に、生ごみ・し尿・汚泥を再資源化する施設「くらしの循環センターまにくるーん」が建設されており、この施設を含む廃棄物処理の取り組みについて、施設管理している方から説明を受け、施設の見学も行いました。

この施設では、年間ごみの約4割を占める生ごみを液肥化し、バイオガスの発電も行っていました。



くらしの循環センターまにくるーん

この施設の建設にあたっては、各家庭の生ごみの収集を1集落や1地区単位で実証実験から着手し、民間主導による地域住民への説明会の実施、回収容器の改良など、10年の期間を経て、令和7年1月から市内全域で本格的に稼働されたとのことでした。

また、生ごみから作られた液肥は、地元の農地で活用され、ドローンを使った液肥の散布は新しい農業支援として期待されています。

下呂市では、約14年後のクリーンセンターの建設を見据えて、生ごみの分別による焼却量の削減、資源化や発電等の活用までを含めた調査研究が必要と考えます。



《岡山県高梁市》

高梁市の市民生活部協働定住課の方から、移住定住施策について説明を受けました。

高梁市は、政策課題のほとんどは人口減少に起因しているとして、総合計画において「健康都市たかはし」を目指す都市像に掲げ、まちづくりを推進していました。

移住定住を促進するため、4つの施策①シティープロモーションの推進として、「わたしあうまち 高梁市」というブランドメッセージの設定②

関係人口の拡大として、大人の里山留学③都市部からの人の流れの拡大として、空き家情報バンク制度・移住コンシェルジュの配置・移住サポート団体・地域おこし協力隊の活用④若い世代の定住促進の強化として、住宅取得の支援・結婚推進・子育て支援などに、それぞれ取り組んでいるとのことでした。

中でも、大人の里山留学は、総務省の地域おこし協力隊インターン制度を活用し、1～3か月間の移住体験プログラムを提供されています。また、移住サポート団体の活用は、平成24年からの取り組みで、現在6団体あり、移住希望者は「この人たちがいるから、ここに住みたい」と感じさせるほど重要な存在となっているそうです。

他にも、空き家バンクのホームページを毎日更新したり、移住コンシェルジュの報酬を交付税措置の対象とするなど、下呂市が参考にできる取り組みが多くありました。

委員会で協議し、提言へとつなげていきたいと考えます。



高梁市のスタッフシャツ

七尾市から「のと里山海道」にて輪島市に向かいましたが、地震による地盤の隆起・陥没により、道路は全体的に平坦性が悪く、崩落したままの箇所が多くみられ、片側交互通行が続いていました。ガードパイプが宙吊りになり、



《石川県輪島市(現地視察)》
昨年引き続き、令和6年1月に発生した能登半島地震の被災状況、復興状況について、被災当時輪島市内で旅館業を営み、現在は旅行会社で震災関連のツアー業務に携わってみえるガイドの方より説明を受けました。

総務産業建設常任委員会 委員会管外視察

日時：
7月17日～18日

視察先：
石川県輪島市、
富山県氷見市、
黒部市

調査研究テーマ：
危機管理分野、農林業分野
に関して、能登半島地震の
被災地の現状および各市の先進的な取り組み



今回ガイドをしていただいた方は旅館の経営者という立場であり、一般の方とはまた違った視点で今回の地震発生から現在までの経過を見ておられました。その意味で観光立市である当市においても参考になるお話が聞けたことは大変有意義であったと感じています。圧倒的なマンパワー不足といった経営者ならではの行政に対するご意見なども伺うことができ、観光客の安全確保なども含め、次回の災害防除に関する提言に具体的に反映させていきたいと考えています。



崖崩れで地肌が剥き出しのままの山あいを走行するバスの車内で説明を受けました。
最初は声を上げて反応していた委員もそのうち唸るだけになり、最後はまさに息を呑む状況で、あまりの被災状況に言葉もありませんでした。
輪島市内の状況も被災当時のままのところが多くみられ、思うように復旧が進んでいないという印象を受けました。



《富山県氷見市》
荒廃農地の解消に向けた取り組みについて、市内で展開されているさまざまな事業について担当課より説明を受け、その一つの事業所を実際に訪問してお話を伺いました。
地元建設企業が参入し、遊休農地を活用した羊の放牧や牧草栽培などの粗放的管理が地域づくり協議会と連携して実施されており、地域住民の意向がしっかりと反映された取り組みであることを確認しました。その他、地域おこし協力隊が中心となつて遊休農地でみかん栽培を行っている事業など、面積はそれほど広くなくても市内の使われていない農地が有効利用されている事例が多く紹介され、当市においても荒廃農地を増やさないよう手を打っていく上で参考になる部分があると感じました。また、それらの取り組みには実に多種多様な方々が携わり、市がその仲介役を担っていることを伺い、改めて行政の果たすべき役割を再認識することができました。

地理的条件がほぼ同じで、熊の目撃情報や農作物の被害が頻発している当市においても、十分制度化する価値のある事業であり、委員会で審議し政策提言に盛り込んでいきたいと考えます。



熊や猿などの野生動物は、自分より体の大きい動物に近づかない習性があるため、中山間地の耕作放棄地に牛(カウ)を放牧する地帯(ベルト)を設置することで、人里に近づかないようになり、また、牛が雑草を食べることで景観も保全されるようになったそうです。
牛の放牧
エリアを囲む電気柵の維持管理や牛の健康管理を事業主体である森づくりクラブが担当されていきました。今年で19年目となり、熊の出没回数の減少など一定の成果があったと説明を受けました。



《富山県黒部市》
耕作放棄地対策の一環として取り組んでいる「カウベルト事業」について視察しました。
熊や猿などの野生動物は、自分より体の大きい動物に近づかない習性があるため、中山間地の耕作放棄地に牛(カウ)を放牧する地帯(ベルト)を設置することで、人里に近づかないようになり、また、牛が雑草を食べることで景観も保全されるようになったそうです。

9月定例会の報告

9月2日から9月30日までの29日間において、令和7年第5回下呂市議会定例会を開催しました。

初日には、国民健康保険税条例の一部改正および6月の豪雨で被災した公共土木施設の復旧のための測量設計費に係る補正予算の専決処分の承認、農業委員会委員の任命、医療対策事業に係る補正予算などについて同意・可決しました。

また、最終日には、条例改正、一般会計・特別会計・企業会計に係る補正予算、令和6年度の各会計決算などについて可決・認定しました。

上程議案と審議結果

★各上程議案の詳細は、下呂市ホームページをご覧ください。
(右の二次元コードを読み取るとホームページが閲覧できます)



○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議 案 名	付託委員会	審議結果
専決処分の承認について(下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	—	承認(全会一致)
専決処分の承認について(令和7年度下呂市一般会計補正予算(第5号))		
人権擁護委員候補者の推薦について【推薦者1名】	—	適任(全会一致)
下呂市農業委員会委員の任命について【任命者14名】	—	同意(全会一致)
損害賠償の額を定めることについて	—	
財産の取得について		
坂本線2災害復旧工事請負契約の変更契約の締結について		
令和7年度下呂市一般会計補正予算(第6号)		
令和7年度下呂市国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)補正予算(第2号)	総務産業建設常任委員会	
下呂市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市職員の育児休業等に関する条例及び下呂市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について		
下呂市基金条例の一部を改正する条例について		
下呂市火入れに関する条例の一部を改正する条例について	予算決算常任委員会	可 決 (全会一致)
下呂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について		
令和7年度下呂市一般会計補正予算(第7号)		
令和7年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)		
令和7年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		
令和7年度下呂市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第1号)		
令和7年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)		
令和7年度下呂市国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)補正予算(第3号)		
令和7年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算(第1号)		
令和7年度下呂市学校給食費特別会計補正予算(第1号)		
令和7年度下呂市水道事業会計補正予算(第1号)	予算決算常任委員会	
令和7年度下呂市立金山病院事業会計補正予算(第1号)		
令和6年度下呂市一般会計決算の認定について		
令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)決算の認定について		
令和6年度下呂市後期高齢者医療特別会計決算の認定について		
令和6年度下呂市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)決算の認定について		
令和6年度下呂市介護保険特別会計(保険事業勘定)決算の認定について		
令和6年度下呂市国民健康保険事業特別会計(診療施設勘定)決算の認定について		
令和6年度下呂市下呂財産区特別会計決算の認定について		
令和6年度下呂市学校給食費特別会計決算の認定について		
令和6年度下呂市水道事業会計決算の認定について		
令和6年度下呂市下水道事業会計決算の認定について		
令和6年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計決算の認定について		
令和6年度下呂市立金山病院事業会計決算の認定について		

○報告案件

議 案 名
放棄した債権の報告について
健全化判断比率の報告について
資金不足比率の報告について
一般財団法人下呂ふるさと文化財団の経営状況の報告について

○全会一致で可決した議案【市長提出議案(追加提出)】

議 案 名	付託委員会	審議結果
訴えの提起について	—	可決(全会一致)
令和7年度下呂市一般会計補正予算(第8号)	予算決算常任委員会	

総務産業建設 常任委員会

9月19日、定例会初日に付託された5議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《下呂市職員の育児休業等に関する条例および下呂市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について》

（人事院規則の一部改正に伴い、育児時間の多様化への対応および育児に係る両立支援制度を利用しやすい勤務環境とする整備を行うため改正するもの）

問 1日2時間以内で取得できる第1号部分休業と、新たに年間10日以内の範囲で、時間単位でも1日単位でも取得可能な第2号部分休業が規定された点について、その限られた日数内で出産後の育児が十分できるのか。

答 部分休業については、今年度15名の利用があり、遅く出勤し早く帰ることにより、例えばその時間をこども園の送迎等の時間に充てるといった使い方が多く、十分現状でも活用していただいております。特に問題は発生していません。また、第1号部分休業を選択すれば今まで通り1日2時間を上限とするという時間単位でも取得が可能であり、第2号部分

休業を選択すれば、年間10日以内という範囲で時間単位でも1日単位でも取得が可能となることから、より職員のニーズに合った形で対応できるように考えています。

《下呂市基金条例の一部を改正する条例について》

（芸術文化の振興および持続的な観光まちづくりの推進を目的に基金を設置・廃止するため改正するもの）

問 新設される下呂市アートプロジェクト基金について、目標とする金額と今後の計画は。

答 来年度開催予定の第1回下呂市アートプロジェクトについては、今定例会に提出した補正予算で基金積立金1億1千万円を計上し、今後は、3年ごとに開催するものとして、第2回目の開催まで積み立てる予定であり、次回の開催規模、第1回目の実績等を考慮した上で積立額を決めていきたいと考えています。

問 下呂市宿泊税活用事業基金と、下呂市入湯税活用事業基金の積立額と目標金額は。

答 宿泊税活用事業基金は、年度末で約4300万円、入湯税活用事業基金は、年度末で約1億2000万円ほどの規模で創設したいと考えており、積立額については、1千万円から当該年度の税収の1割程度にあたる約2千万円を想定しています。

予算決算常任委員会 （補正予算審査）

9月22日、定例会初日に審査を付託された10会計の補正予算について審査を行い、9月30日には、定例会最終日に追加提出され審査を付託された一般会計補正予算を本会議休憩中に審査しました。審査の結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

《アートプロジェクト事業》

（来年度秋開催予定の芸術祭に向け必要な作品製作や広報宣伝に係る費用を実行委員会へ負担金として支出するため補正を行うもの）

問 最終的な事業規模とその財源となる国県補助金の見込みは。

答 全体的な予算額は精査中ですが、1億6千万円に入場料収入を加え、さらにふるさと寄附金の充当も検討しながら定める予定です。補助金で決定しているものではありませんが、文化庁や観光庁、総務省等の補助金が受けられるよう情報収集等を行っています。

《雇用促進奨励事業》

（新規学卒者や市外人材の市内就職を促進するため、市内事業所に正規雇用された方へ交付する就職奨励金の申請数見込増加に伴い補正を行うもの）

問 申請数が増加となった要因は。
答 本奨励金は、就職して10カ月後

での申請となるため、昨年度就職者が今年度に入り申請されたケースもあり、それが要因として挙げられます。また、地元高校と特別支援学校から、今年度の新卒者21名が市内事業所に就職されたとの情報を得ており、市内就職の増加傾向も伺えます。

《消防本部諸経費》

（消防車両が侵入困難な場所で効果的な消火活動を行えるよう小型軽量可搬ポンプと背負式消化器具を、さらに急流河川でも迅速かつ安全な救助活動が行えるようラフトボートを購入するため、補正を行うもの）

問 ラフトボートの機能と使用上の優位性は。

答 現状、救助活動にゴムボートを使用していますが、ラフトボートは塩化ポリエチレン製で衝撃にも強く、ボート内の水も自動的に排水する機能を持っています。また、急流に対し細かい操作が可能なたため、今後の活動の安全性を高めるものと考えます。



▲購入予定のラフトボードのイメージ

付託案件の審査内容を動画共有サービスYouTubeにて視聴できます。



9月定例会 一般質問

これって、どうなってるの？

【市民に代わって 議員が市政を問う】

議員が市長をはじめとした執行部に対して、執行状況や将来の方針、課題や疑問点など行政全般について報告や説明を求めたり、質問することを一般質問といいます。

桂川いずみ	☐ 地域集約化の推進 ☒ 第三次総合計画における今後の自治会のあり方	大西尚子	☒ 産前産後ケアのさらなる充実 ☐ 地域で支える介護保険制度の持続可能性と課題
加藤久人	☒ 今後のデマンドバスの運行方針 ☐ 市庁舎の有効活用	下平裕次郎	☐ これからの下呂市、日本を担う子どもたちの教育 ☒ 「ここで働きたい」と思われる市役所への取り組み
高井範和	☒ 小さな担い手支援金制度の活用状況と今後の運用 ☐ 家庭ごみの減量化・資源化	田口琢弥	☐ 外国籍の子ども達と保護者への支援 ☒ 水道事業の経営状況と今後の計画
田中喜登	☐ こども園の今後の運営 ☒ 下呂温泉合掌村の経営状況 ☐ 新規就農者への支援のあり方	桂川融己	☒ 地域経済の持続性と新しい挑戦を後押しする仕組み ☐ 議論の場づくりと地域運営のあり方
中島ゆき子	☒ 令和7年度一般会計新規事業の進捗状況 ☐ 宿泊税の導入に向けた準備状況	尾里集務	☐ 放課後児童クラブの現状と課題 ☒ 緊急銃猟制度の運用のあり方
鷺見昌己	☒ 地元で働き、暮らすことができる職業の選択肢拡大 ☐ 利便性向上に向けた道路網整備 ☐ 地域の小修繕を行う重機借上げや原材料支給の制度改善	今井政良	☒ 産前産後ケア充実による子育て支援 ☐ 小中学校の統合のあり方 ☐ 避難所施設の整備計画

☒ チェックしてある項目を次ページ以降に掲載

議員の写真下の二次元コードから各議員の一般質問の映像を動画共有サービス「YouTube」にて視聴できます。

地域の活力を未来につなぐために

問 高齢化や人口減少が進み、地域活動の担い手不足といった深刻な課題が地域行事の継続にも影響を及ぼしている。活力ある自治会活動を将来にわたり支えていくための方策は。

答 地域振興部長
自治会の機能維持は、重要な課題の一つです。役員の引き受け手をはじめ、担い手不足は大きな問題です。

自治会の運営は、その地域の中で考えていただくことが基本であり、行政が押し付けたりするものではありませんが、自治会活動の継続性が厳しいと考えられるところへは、自治会の統合や、小学校



区のような広い範囲で地域課題の解決に取り組む仕組みとなる「地域運営組織」の導入を提案しています。

他にも、自治会未参加の方への声掛け、地域の担い手候補者への声掛けと育成も大切であり、そうしたきつかけづくりを支援していきたいと考えています。

なお、「地域運営組織」導入を前向きに考えられている地区には、市として集落支援員の配置を考えています。



かつらがわ
桂川 いずみ
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



市民の生活に寄り添うデマンドバスの運行を

問 デマンドバス金山循環線については、バス路線の廃止を判断する目安である乗車人数を下回っているが、今後の方向性は。

答 まちづくり推進部長

金山循環線の運行継続の目安となる乗車人数は、乗車定員9名のジャンボタクシーの乗車率44%を目標に1日平均24人、1便平均4人と設定していました。本年6月末時点での乗車人数は1日平均15人、1便平均2.5人であったのが、利用促進事業の効果もあり、7月には1日平均21人、1便平均3.5人を達成し、以降も安定しています。この状況を踏まえ、廃止か継続かを判断するのは時期尚早と判断し、1乗車100円の実証実

験を今年度末まで延長し、引き続き運行と検証、改善策の検討を進めたいと考えています。

金山循環線が地域に定着するには、利用実態に合わせた柔軟な運行が必要と考えます。そのため、今後は全てのダイヤを固定するのではなく、利用ニーズに応じて車両の大きさや運行方式を柔軟に変えることを検討し、より効率的で使いやすい運行を目指します。



▲デマンドバス金山循環線



かとう
加藤 久人
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



家庭ごみの減量化・資源化に向けて

問 市指定のもえるごみ専用袋から、無料もえるごみ処理券による排出方法に変更されたが、そのねらいは。

答 環境部長

各家庭において、もえるごみの排出を無料配布数内で抑えようとする意識が作用し、分別やりサイクルへのきつかけとなり、ごみの減量化や資源化につながるものと考えます。

問 処理券の製作・発送等には、約930万円を要し、年度替わりには期限切れ処理券の使用のトラブルも多い。家庭ごみの減量化を目指すには、処理券による排出より、出口戦略が重要では。

答 環境部長
回収した廃ペットボトルと空き缶類は、資源として売却しています。また、PTA等により、新聞や雑誌、段ボール、衣類、アルミ缶等の資源回収がされています。さらに、生ごみ減量化のため、生ごみ処理機購入費補助制度の創設や段ボールコンポストの活用講座開催等の取り組みを支援しています。

なお、減量化推進には、廃ペットボトル以外の容器包装プラスチックや製品プラスチックの分別回収と資源化ルートの確立が課題となっています。



高井 範和
たか い のり かず
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



「下呂温泉合掌村」の魅力発信を

問 令和2年に元職員による不正な使途不明金事件が発覚し、市を揺るがす大問題となった。事件による欠損金の処理経過と現状は。

答 観光商工部長

事件発覚に伴い、令和2年度に2億6527万2905円の特別損失を計上しました。さらに新型コロナウイルスの影響で入場者数が前年度の半分以上に落ち込んだことで営業損失が発生し、1億177万5111円の未処理欠損金（赤字）を抱えることになりました。令和3年度もコロナ禍の影響は続き、入場者数の回復が進まず、令和4年度にようやく回復の兆しが見え始め、入場者数は徐々に増加、未処理欠損金は令和5年

度末に約5038万円まで減少し、経営も安定してきました。令和6年度には、入場者数がコロナ禍前の水準まで回復し、約5334万円の純利益を計上した結果、未処理欠損金を解消し、約296万円の利益剰余金を出すことになり、黒字化を達成しました。黒字経営を遂げることができたのは、入場者数の回復と、積極的な観光宣伝および徹底した経費削減と業務の内製化が実を結んだものと考えています。



▲下呂温泉合掌村



田中 喜登
た な か のり
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



女性が安心して働き、暮らせる地域を目指して

問 今年度の民生教育まちづくり常任委員会活動方針に「女性が活躍する魅力ある地域づくりに向けた調査研究」を掲げている。女性活躍推進に向けた具体的な取り組みは。

答 まちづくり推進部長

令和5年から10年間で計画期間とする「下呂市女性の活躍推進計画」では、女性のキャリアアップ、働きやすい職場環境づくり、女性が自由に輝ける社会づくりを3つの柱として定めています。これらの取り組みは、令和7年度から始まった「下呂市第三次総合計画」とも整合しており、女性活躍推進に向けた事業者との連携強化や、新しい働き方

への支援を盛り込んでいます。

今後も各地域がもっと元気になるために国が示す「地方創生2.0」の方向性と合致させながら施策を推進します。

なお、今年度は、7月17日と9月25日に県のキャリアカウンセラーと子育て支援相談員の協力のもと、子育てに関する講座「キャリアナビ」を開催し、さらに、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と連携し、12月に「女性活躍推進セミナー」を開催予定です。



なかしま
中島ゆき子
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



▲下呂市女性の活躍推進計画

誰もが地元で働き、暮らし続けられるために



いわた
鷲見昌己
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



問 下呂市で働きたいと考える方に対する就職支援制度、また、他に仕事を持ちながら農業を営むライフスタイルの半農半Xや、メインの仕事とサブの仕事の掛け持ちするダブルワークなど、柔軟な働き方を支援する制度創出の考えは。

答 観光商工部長

市としては、市内事業所の雇用確保につながる取り組みを最優先に進めており、現時点では、半農半Xやダブルワークに係る雇用支援制度の創出に向けた具体的な検討まで至っていません。テレワークを導入する企業や、副業・兼業を容認する地元企業を把握の上、関係事業所や商工会等との連携強化により、下呂市に見合った働き方を創出するところから進めていきたいと考えています。

また、来年度から始まる奨学資金貸与制度（下呂市みらい奨学金）において、下呂市に帰郷し生活する若者に対する返済金支援制度を現在検討しています。これは、下呂市で働きたいと考えるきっかけや支援になるものと考えています。



産前産後ケアのさらなる充実に向けて

問 市内で分娩ができない現状を踏まえた妊婦への支援として、分娩施設の近くに一時的に滞在する際の宿泊費用を補助する制度導入の考えは。また、産後ケアの充実も望まれるが、既存事業の状況は。

答 市民保健部長
今年4月から、妊婦の緊急搬送をサポートする「ママ・サポート119」と、妊婦健診に伴う医療機関等への移動費用を助成する「妊婦健康診査等交通費助成」の運用を開始し、妊婦さんが安心して出産を迎えられる環境の充実に努めています。「宿泊費用助成」は、出産間近の妊婦さんの緊急時のリスクを軽減する



ためのサポート体制の充実を図る上で有効であり、制度創設に向け取り組んでいきたいと考えています。

産後ケア事業については、市内に住所を有する1歳未満の母子で、心身の不調や育児不安があり、家庭等で十分な支援が受けられない方を対象とし、「宿泊型」「デイサービス型」「訪問型」の3類型により、沐浴や授乳の指導といった育児支援の他、宿泊型とデイサービス型では食事の提供を行っています。



おおにし なおこ
大西尚子
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



「ここで働きたい」と思われる市役所へ

問 市役所においても、市民サービスの質を維持しつつ、効率的で持続可能な働き方改革を進めるべきと考える。具体的には、開庁時間の短縮が挙げられるが、その考えは。

答 総務部長
現在、開庁時間の見直しに向け調査を行っています。見直しの目的は、単に職員の労働時間を減らすための取り組みではなく、窓口業務の時間を短縮することで創出された時間を、より丁寧な政策立案などに振り向けることにあります。日々の窓口対応に追われる現状から、将来を見据えた改善に取り組む体制へと転換し、最終的には市民の皆さまにより良い行政サービスを提供することを目指しています。

なお、開庁時間の短縮するに当たっては、市民の皆さまの利便性が低下することがあってはならないというのが大前提です。そのため、オンライン申請のさらなる拡充や、証明書のコンビニ交付サービスの推進、デジタル機器に不慣れな方へのサポート体制の強化といった代替サービスの徹底した充実に併せて取り組む必要があると考えています。



▲市役所市民サービス課窓口

しも ひら ゆう じ ろう
下平裕次郎
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



安全と安心を支える水道インフラの確立を

答 上下水道部長
漏水等の発生件数は、ここ5年間の平均で年間約130件、修繕費用は、発生箇所数や漏水場所、修繕方法により、年によって差がありますが、5年間平均で約3200万円となっています。最近の傾向として、本管の漏水事故が増

問 全国的に水道管のトラブルが問題となっており、本市においても大規模な事故こそないものの、小規模な漏水等は頻発しているが、近年の漏水等発生状況は。また、人口減少による水道料金の減収、その一方で施設更新等の費用増大が見込まれる中、水道料金改定がされたが、料金収入への影響は。



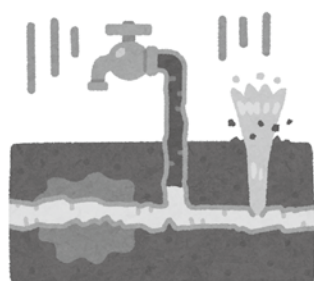
田 口 琢 弥
た ぐ ち た く や
議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



えており、それに伴い費用も増加傾向にあります。

料金改定後の収入については、改定前の令和5年度に2カ月間の水道基本料金の減免措置を行いましたので、単純比較はできませんが、減免措置を料金収入として換算し計算すると、約2100万円の増収、増収率約3.3%となっています。料金改定時に約5%の増収を目標としていましたが、想定を上回る人口減少等により目標値には少し届いていない状況です。



地域経済の持続と新たな挑戦への後押しを

問 中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく振興計画策定の進捗状況と、働きやすい環境づくりや新たな挑戦を後押しする取り組みは。

答 観光商工部長

本市における中小企業等の振興は、人口減少や若者流出といった喫緊の課題に対し、地域経済の持続性を確保する観点から極めて重要と認識しています。

現在、中小企業・小規模企業振興基本条例に基づき、振興計画の骨子案を作成し、庁内関係課と協議中であり、今後は、商工会や金融機関等の関係者から意見を聞き、年内に素案を作成、年明け以降に具体化を進め、3月末の公表を目指します。

答 市長

第三次総合計画においても人口減少対策の課題のひとつに雇用を掲げています。企業の声を幅広く聴くことは重要であり、企業独自の問題や支援の要望を丁寧に把握し、きめ細かな伴走支援を行っていきます。

事業承継も人口減少対策の一環であり、商工会と連携し、小規模事業者が力を合わせて発揮できるよう、組織づくりも含めて取り組んでいきます。



一般質問・答弁
の映像はこちら



桂 川 融 己
か っ ち ら が わ ゆ う き
議員

市民の命を守る猟友会との連携強化を

最前線に立つ猟友会の皆さま

しかし、緊急銃猟において

きるか検討してきました。

方法・安全の確保」を満たし、

要件である「場所・緊急性・

取り掛かり、特に緊急銃猟の

の運用マニュアル作成に向け

ガイドラインを基に、市独自の

7月に国が示した緊急銃猟

答 農林部長

けた市の対応は。

新設されたが、これを受

能にする緊急銃猟制度が

銃による捕獲・駆除を可

で、特例的かつ迅速に猟

長の判断と責任のもと

理法が改正され、市町村

等に出没する事案が急増

している中、鳥獣保護管

問 全国的に熊等が市街地

に立脚する事案が急増

している中、鳥獣保護管

理法が改正され、市町村

長の判断と責任のもと

で、特例的かつ迅速に猟

銃による捕獲・駆除を可

能にする緊急銃猟制度が

新設されたが、これを受

けた市の対応は。

能にする緊急銃猟制度が

新設されたが、これを受

尾里集務 議員

一般質問・答弁
の映像はこちら



定です。

べき点が無いかな検証を行う予

訓練等を実施しながら改善す

なお、マニュアル完成後は、

るよう取り組みを進めます。

議を重ね、適切な対応ができ

せんが、猟友会の皆さまと会

のまま活用できるとは限りま

有事の際にマニュアルがそ

成に至っていない状況です。

アルを作成すべきでしたが、完

日の改正法施行に合わせマニ

は多く、本来であれば9月1

用するリスクの除去など課題

の安全確保と、街中で銃を使

成に至っていない状況です。

アルを作成すべきでしたが、完

日の改正法施行に合わせマニ

は多く、本来であれば9月1

用するリスクの除去など課題

の安全確保と、街中で銃を使

成に至っていない状況です。

アルを作成すべきでしたが、完

日の改正法施行に合わせマニ

は多く、本来であれば9月1

用するリスクの除去など課題

子育て支援拠点の強化と産前産後ケアの充実を

問 親子が安心して遊べる場所として、公民館を開放できないか。

答 福祉部長

子育て中の保護者が孤立し

ない環境づくりは、産後うつ

予防や子の健やかな育ちのた

めの重要な課題です。こども

園を拠点に子育て支援セン

ターを開設していますが、公

民館を利用し限られた時間で

の開設となつている地域もあ

り、利用しづらいという声も

お聞きしています。公民館の

解放について単に場所を提供

するだけでなく、保育士等を

配置し専門的な支援とセット

で提供することが孤立を防ぎ、

支援強化につながると考えま

す。まずは、子育て当事者の

ニーズを伺い、開設日数を増

やすなど現実的かつ効果的な

見直しを進めていきます。

問 産前産後に活用できる家事支援・食事支援の考えは。

答 福祉部長

産前支援としての妊婦への

伴走型相談支援や、産後支援

としての乳幼児全戸訪問、産

後ケア事業等を行つていま

す。これらの支援をより充実

させつつ、その中で産前産後

の母親の皆さんの声を充分聞

きながら、家事支援・食事支

援の必要性も含め支援施策の

検討を進めていきます。



一般質問・答弁
の映像はこちら



今井政良 議員

一般質問の方法が 変わります

下呂市議会の一般質問は、「一括質問一括答弁方式」と「一括質問個別答弁方式」を採用しています。これらは、議員がすべての質問をまとめて述べた後、市長等が答弁する方式です。そのため、「どの質問への答弁が分かりにくい」という問題がありました。このため、市民の皆さまにとって、より分かりやすい議会を目指し、令和8年6月定例会から、「一問一答方式」に変更します。

「一問一答方式」のポイント

★質問と答弁が明確に

議員が質問を一つずつ述べ、それに対して市長等がすぐに答弁します。

★議論の深堀り

答弁を受けた後、さらに再質問で議論を深めることができます。

このため、質問と答弁が結びつきやすくなり、市民の皆さまにとって議会の議論がより分かりやすくなります。また、議会での議論の活性化にもつながります。なお、この変更は円滑に移行するため、今年の12月定例会と来年3月定例会は、「一問一答方式」の試行を行います。

この変更により、議会でのやり取りがより明確になり、市民の皆さまにとって市政への関心が高まるきっかけになれば幸いです。

民生教育まちづくり常任委員会 管内視察

8月6日、市立金山病院にて、今年2月末で閉鎖された4階の療養病棟の現状を知る目的で、視察を行いました。

閉鎖された病室の一部は、倉庫や職員の臨時仮眠室として使用されていましたが、使わなくなった医療用ベッドやテレビ台などが数多く置かれていました。

また、同フロアには特殊な入浴設備があり、入院患者の健康管理の観点から空調設備が継続して稼働されていました。このため、病棟閉鎖後も光熱費の削減ができないことが、今後の病院経営における課題であるとの意見が出ました。

視察後、市民保健部長や金山病院事務局の担当者と意見交換を行い、

県立下呂温泉病院をはじめとする近隣の

医療機関との

連携を一層強化し、地域全

体の医療提供

体制の確保に努めていく方針が示されました。



市立金山病院

政治への多様な人材の 参画に向けた環境整備を

議会では、「多様な人材の議会への参画促進による議会の活性化」を議会改革のテーマのひとつとして掲げ、これまで調査・検討を重ねてきました。

◆なぜ、今、改革が必要なのか？

○人口減少、高齢化が進み、地域課題が深刻化しています。

○価値観やライフスタイルが多様化している現代において、特定の年齢層や性別、職業等に偏ることなく、地域全体のあらゆる声を聞くことが求められています。

こうした状況を改善し、より多くの市民が立候補しやすい環境を整えることが不可欠だと結論付けました。このため、議会は市長に対し、選挙運動費用の一部を市が負担する（公営化）を要望しました。

◆要望の具体的な内容

○対象となる選挙／市長・市議会議員選挙

○対象費用／選挙運動用の自動車使用料・ビラおよびポスター作成費

○適用時期／次回市長・市議会議員選挙から適用

この公営化が実現されれば、費用が軽減され、これまで費用負担で躊躇ちよしていた方も、立候補しやすくなることが期待されます。

あなたの声をお気軽に
お寄せください

下呂市議会への意見・提案箱

詳細は下呂市議会ホームページをご確認ください

当議会では、議会基本条例に基づき、市民の皆さまから幅広いご意見やご提案をお気軽に提出していただける仕組みとして、『議会への意見・提案箱』を設置しています。お寄せいただきましたご意見やご提案につきましては、調査研究課題として所管委員会へ引き継いだり、市執行部に必要な対応を要請したり、市民の皆さまの貴重な声を反映した政策提言へとつなげるよう努めていきたいと考えています。

◆提出方法

①インターネットによる提出

右記の二次元コードから意見・提案フォームにアクセスのうえ、直接入力してください。

②郵便による提出

任意の用紙に、お住まいの地域（小坂・萩原・下呂・金山・馬瀬の別）、年代、ご意見・ご提案をご記入の上、お送りください。

③ファックスによる提出

②と同様、任意の用紙にご記入のうえ、議会事務局（ファックス番号0576-25-2833）まで送信してください。



～ 市民の皆さまの声を
ぜひお聞かせください ～

～下呂市の未来のためにあなたの声を聴かせてください～ 市議会による出前ヒアリング(座談会)

下呂市議会では、市民の皆さまの声を市政に反映させるため、地域の課題や悩みをお聴きする

『市議会による出前ヒアリング(座談会)』を開催します。

市民グループ・団体や自治会・町内会などの小さな集会にこちらから出向く形式で行います。

皆さまからの申し込みをお待ちしています。

●開催主体

- ・市民グループ・団体や自治会・町内会など(お友達同士やサークル活動のメンバーでの少人数でも可)からの申し込みを受け開催します。
- ・市民グループ等単独での開催が困難な場合は、複数の市民グループ等での合同開催でも受け付けます。

●開催日時および会場

- ・開催日時は、申込団体と協議、調整のうえ決定します。
- ・曜日、時間帯に制限はありません。開催時間はおおむね60分～90分程度とします。
- ・開催場所は、申込団体での確保をお願いいたします。

●座談会のテーマ

- ・申込団体において、地域の特定期課題等を踏まえて、少子高齢化や子育て、介護、農林業、地域づくり、防災などの具体的なテーマを設定していただきます。
- ・単なる要望や苦情ではなく、建設的な会となりますようご協力をお願いします。

●申込方法

- ・開催希望日の1カ月前までに申込書を提出、もしくは専用の申込フォーム入力により申し込みをしてください。
- ・申込書受理後、開催決定通知書をお送りします。
- ・申し込みフォームは、右の二次元コードを読み取ってください。申込書での提出については、市ホームページからダウンロードしてください。



編 集 後 記

下呂市議会では、市民の皆さんの声を聴き、議会の情報をよりわかりやすく届けるため、新しい取り組みを2つ進めています。1つ目は、各委員長による活動方針の発信(チャンネル下呂・YouTube)。2つ目は、市民の皆さんと議員が直接語り合う「議会カフェ」を10月27日(月)から11月1日(土)にかけて、市内各地で開催。議会をより身近に感じていただき、まちや暮らしのこと、日々感じていることを、ぜひお気軽に議会へお寄せください。私たちも、皆さんとともに考え、より良い下呂の未来を目指して、議員活動に取り組んでいきます。

「げろ議会だより」アンケート

「げろ議会だより」をお読みいただき、ありがとうございます。「読みたいなる議会だより」とするため、皆さんの声をお聞かせください。

右の二次元コードを読み取り、アンケートに回答をお願いします。



12月定例会会期日程(予定)

12月定例会の会期日程(予定)をお知らせします。なお、一般質問などの内容は新聞折込および下呂市メールでお知らせします。

月 日	曜日	会 議 内 容	時 間
11月28日	金	本会議(初日)	午前9時30分～
12月11日	木	本会議(一般質問)	
12日	金	本会議(一般質問)	
15日	月	常任委員会	
16日	火	常任委員会	
17日	水	予算決算常任委員会(予算関係)	
19日	金	本会議(最終日)	

※日程は変更になる
場合もあります。

場所：本会議(下呂庁舎3階議場)
委員会(下呂庁舎3-1会議室)

インターネットライブ配信

本会議および常任委員会(付託案件審査)は、動画共有サービス(YouTube)にてライブ配信を行っています。

<https://www.youtube.com/channel/UCALIKRpFipq7Mtp-rJGKQ/featured>

ライブ配信動画は、次回定例会までYouTubeから視聴できます。
過去の配信動画は、下呂市ホームページにて視聴できます。

